

生活保護費八〇
億円へ、政策は

藤田 学(新世紀・自民)

生活保護受給者の実態の把握を伺い、基本的には自立への支援であることを、行政も市民も認識を持つべきと思うが、対策でなく政策を。

健康福祉部長

四月から就労促進支援事業を開始しています。積極的に支援事業を施策として展開していきたい。

災害時における透析医療活動の対策を求める。

加島助役

地域防災計画の

災害時の透析医療活動の充実を

殿村健一(日本共産党)

人工透析が必要な腎臓病患者が多くいる中、災害時の透析医療活動マニュアルを市が作成すべきだがどうか。

加島助役

地域防災計画の見直しを行う中でマニュアル化も図っていききたい。

市内外の透析医療施設の連携にどう取り組む考えか。

加島助役

市内三透析施設については、災害時の対応を見据えたネットワークを働きたいです。



透析装置 (市民病院)

まちづくり公社等を是正せよ

友井和彦(市民派クラブ)

外部監察制度を用い公社・公益法人の見直し廃止を。牧田助役

幾つかの団体について、その事務に携わっている者、行政の所管する部で、まず議論してみたい。

まちづくり公社(社長・牧田秀也町田市助役・国及び市の出資金三二億円)への各種利益供与は市民への背任行為であり、速やかに是正を求める。

牧田助役

商業地の中心核をどうやって栄えさせるかというところで、公社が駐車場をかわってつくり経営しています。荷さばき施設も持っています。町を十分立派な町にしたい、ということなんです。

町田市の少人数学級早期実施を

細野龍子(日本共産党)

四二道府県で踏み出した少人数学級の意義、効果を調査し、都に強く実施を要望すべきだが、どうか。

教育長

東京都に対し、四〇人学級編制から少人数学級編制に実施できるよう、学級編制基準の早期改正を市長会あるいは都市教育長会でも要望しているところです。調査ですが、国立教育政策研究所の研究成果とかを参考にして

いくことが望ましいと考えています。市独自で調査する予定はありません。

予算書・決算書
をわかりやすく

石井恵子(社民ネット)

予算・決算の情報公開、透明性、わかりやすさ、身近さを実現するための工夫箇所を問う。

企画部長

予算成立後、広報で施策別に解説する形をとらせていただいています。財政状況の公表は、決算状況というところで行っています。グラフを用いるなどわかりやすい表現なり説明を行っていきたいと努力しています。

健康福祉部長

第三者評価の義務化の予定など、国の動向を踏まえ、さらに説明会等普及促進に努めていきたい。

ごみ有料化は
市民理解が大切

岩下正充(公明党)

なぜ有料化するのか。実施する市民負担をいつ頃からいくらにするのか。

市長

願わくば三月定例会あたりで条例化を整え、実施に入りたいと考えています。

牧田助役

可燃ごみ、不燃ごみは、原則戸別収集を予定しています。

市民理解について、現在、どのように取り組んでいる、今後の予定は。

市長

いろいろなご意見を必要は、ごみの減量と資源化率の向上、大きくは環境を守るためです。額は他市の例も参考に定めていきたい。

収集方法に改善はあるか。



現在のごみ収集

議会への根回し
についてその2

新井克尚(市民派クラブ)

市民から出された請願を議員に反対してくれと所管部長が言ったのは間違いありません。

建設部長

車両の通行に関する業務について、受理したものを処理しないということではできません。やむを得ないんだとお話した結果、請願を不採択にしてほしいというお願いをしたかもしれません。

忠生六三〇号線道路計画は市民から出された要望書にある内容を叶えるということでしょう。

肝炎ウイルス検査の周知を求める

今村路加(社民ネット)

C型肝炎ウイルスに汚染された「フィブリノゲン」は八〇年から八七年まで治療・手術に使用された。厚労省の公表前に、市民病院での使用有無をお聞きします。

市民病院事務局長

全国で七〇〇〇余りの病院に納入され、市民病院では、八〇年から八七年の間に六一本納入されています。おおよそ二〇から三〇人の患者さんに使われる本

数になりますが、診療録の保存が、法的には五年、市民病院は外来五年、入院一〇年というところで、診療録から特定できない状況になっています。患者さんからの申告に対して、照会があった場合、C型肝炎ウイルスの検査をお勧めする対応を基本としています。検査になると自費になります。市民病院で受けたということもあわせ、負担のかからないよう今詰めています。

用語の解説

本文中の青文字の解説です

◎ユニバーサルデザイン

【1面】

「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。

◎AED(自動体外式除細動器)

(Automated External Defibrillator) 【3面】

心臓停止の状態になった人に、電氣的ショックを与え、心臓を正常な動きに戻す機器。除細動(心臓への電気ショック)が必要かを機器が判断し、救命の手順を音声で指示し、救命行為が簡単に出来るように作られている。これまで使用は、医師等により認められていたが、2004年7月1日から一般市民も使えるようになった。

◎マルチペイメント

【3面】

収納機関と金融機関をネットワークで結ぶことにより公共料金等の各種料金をパソコン、携帯電話、ATM等で支払えるようにするもの。

◎ER(Emergency Room)

【3面】

緊急救命室。緊急医療、救急医療あるいは救急外来とも訳されている。とくに北米で発達した救急医療の体制で、24時間365日、すべての救急患者を断ることなく受け入れ、救急外来(ER)で診断し初期診療を行った上で、入院の必要がある患者は各診療科に回すシステム。